

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポートLepus			
○保護者評価実施期間	R7 年 2 月 25 日 ～ R7 年 3 月 12 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	R7 年 3 月 5 日 ～ R7 年 3 月 6 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	R7 年 4 月 8 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供たちが、安心感を感じながら、楽しく通所できている。	・落ち着いて過ごせる空間の整備 ・子供たち一人一人への声掛け ・子供たちが楽しめる内容、支援、達成感を感じられる活動 ・見通しの持てるスケジュールの視覚化 ・自分の気持ちを伝えることが出来る自己表現の場	信頼県警を深めるやり取りを意識し、安心して自分の気持ちを表現できるよう安心できる居場所づくりをしていく。
2	毎月の活動プログラムを立案し、その日の状態に合わせて活動をしている。	・子供たちの得意なこと、興味のあることを取り入れた活動 ・その日の体調、状態に合わせ、無理強いしないよう活動参加を促す	今後も、子供たちが楽しく参加できる活動、遊びを取り入れていく。また、イベント等、子供たちに企画してもらうなど、全員が参加して楽しめるような活動を取り入れていく。日々の活動がマンネリ化にならないよう、職員間でアイデアを出し合い、より有意義な活動が出来るよう取り組む。
3	「静」と「動」を取り入れ、メリハリをつけたスケジュールリングを組んでいる。	・静の時間は、宿題、個別プリント、絵本を読むなど座って取り組むことが出来る活動 ・動の時間は、体を動かす活動	子供たちの集中力を高めるため、「静」と「動」の動きを取り入れ、心と体のメリハリをつけていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会、保護者会などの機会が取れていない	土日祝日の営業がなく、なかなか機会を作ることが難しい	今後できる範囲で、保護者同士の交流の機会を作って聞けるよう企画検討していく。
2	家庭支援プログラム（ペアトレ等）や家族が参加できる研修会や情報提供の機会が少ない。	ペアレントトレーニングの体制が十分に整備されていないことから、現在行っていない。	講習、研修会の情報があれば周知していく。
3			